

2013年10月22日

東急不動産株式会社

世界初“マンション向け家庭用燃料電池「エネファーム」” 「ブランズシティ品川勝島」にて採用 東急不動産の住まい「BRANZ（ブランズ）」

東急不動産株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:金指 潔)は、東京都品川区にて建設中の「ブランズシティ品川勝島」(総戸数356戸)に、東京ガス株式会社(本社:東京都港区、社長:岡本毅、以下「東京ガス」)が発売を開始する世界で初めてのマンション向け家庭用燃料電池「エネファーム」を採用することといたしました。

世界で初めてのマンション向けエネファームをいち早く採用し、その他、当社独自の創エネ・蓄エネ・省エネの設備等を組み合わせたエネルギーマネジメントシステムを構築し、限られたエネルギー資源を有効に利用します。

戸建住宅用として普及しているエネファームは、都市ガスから化学反応により電気を安全・クリーンに発電し、その際に生まれた熱を有効に使用して、給湯にも利用する環境にやさしいエコシステムです。

家庭用燃料電池としてお客様からも大変評価が高いエネファームは、設置場所の確保や法令上の基準への適合等、マンションにおいては採用が難しい条件がありましたが、マンション向けエネファームでは、課題であった省スペースや高層建物における耐震性、耐風性などの向上が実現しており、全戸採用を決定いたしました。今後も、業界最先端の環境対応に一層取り組んでまいります。

「ブランズシティ品川勝島」では同システムを全戸に導入し、その他の設備を組み合わせた、当社独自のエネルギーマネジメントシステムにより、各家庭内における創エネ、蓄エネ、省エネによって、電気使用量の削減、ランニングコストの低減を図り、エコロジーとエコノミーの両立による新しい価値の提供を目指しています。またお客様の快適な暮らしと地球環境の保全、電力ピークカットなどにも貢献してまいります。



マンション解放廊下側パイプシャフト内への設置イメージ例

※提供:東京ガス



商品外観

※提供:東京ガス

「BRANZ」では、ブランドコンセプトを「人生を極める住まい。」とし、「住まいとしてはもちろん、資産としても、現在そして将来にわたるその時々において、このエリアで最良の物件として納得していただける住まいづくり」を志向しています。「ブランズシティ品川勝島」では、様々な形で新しい価値の提供を目指しており、先にビクターエンタテインメント株式会社とのコラボレーションによる、音による居心地の良い空間を作り出す超高音質のハイレゾリューション・サウンドシステム「KooNe(クーネ)」の導入が決まっており、共用部1階のラウンジで提供する予定です。

■「ブランズシティ勝島」の概要

- ・ 所在地 東京都品川区勝島一丁目1番54
- ・ 交通 京急本線「鮫洲」駅徒歩11分、りんかい線「品川シーサイド」駅徒歩14分、東京モノレール「大井競馬場前」駅徒歩7分
- ・ 敷地面積 7,957.66㎡
- ・ 延床面積 36,362.88㎡
- ・ 構造・規模 鉄筋コンクリート造 地上18階地下1階
- ・ 総戸数 356戸
- ・ 間取り 3LDK～4LDK
- ・ スケジュール
 - マンションギャラリーオープン 2014年 3月(予定)
 - 販売開始 2014年 5月(予定)
 - 竣工 2015年 7月末(予定)
 - 引渡し 2015年 9月末(予定)



(「ブランズシティ品川勝島」完成予想図)

以上